

発見！ なかがわ史

はじめに

日本の歴史に登場する縄文時代や弥生時代、古墳時代などの大昔、那珂川市はどんな様子だったのでしょうか。那珂川市の文化財をひもとけば、日本の歴史が見えてきます。

さあ、歴史の旅へ出かけましょう。



じょう もん

縄文時代

(約 12,000 年前から約 2,500 年前)

縄文時代の人々は、^{たてあなじゅうきょ}竪穴住居に住んで、^{りょう}狩りや漁をして暮らしていました。
また、土器（縄文土器）を使い、煮炊きをすることで料理の幅が広がったり、食料を
たくわえたりできるようになりました。

～縄文時代の大集落 山田西遺跡群～

山田西遺跡群からは住居跡が 26 棟発見され、他にも土器や石器、^{ちょぞうけつ}貯蔵穴(食料を保存
しておく穴)や炉の跡が見つかりました。



^{たてあなじゅうきょあと}
▲竪穴住居跡・・・大きさは約 5m で、12 畳の広さがあります。



復元イメージ図



^{いしぐみろ}
▲石組炉・・・石を敷き詰めることで、熱がよく伝わります。



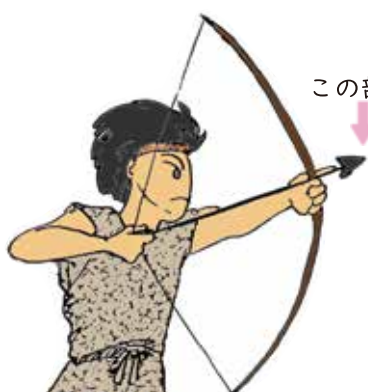
生では食べられなかった物が、
炉や土器を使い、熱を加える
ことにより食べられるよう
になったんだ！

～縄文時代の道具～



^{こくようせき}
▲矢じり(黒曜石)

この部分



^{さいせきじん}
▲細石刃

木や骨でつくった^{やり}槍の先に
小さな石の刃をはめ込んで
使います。刃こぼれしても、
その部分だけ交換できるよ
うに工夫しています。



^{おしがたまん ど き}
▲押型文土器(高さ約 25 cm)

縄文土器にはたくさんの種類
があります。この土器は、木
の棒に模様をつけ、回転させ
ながら押しあてることで文様
をつけています。

やよい 弥生時代

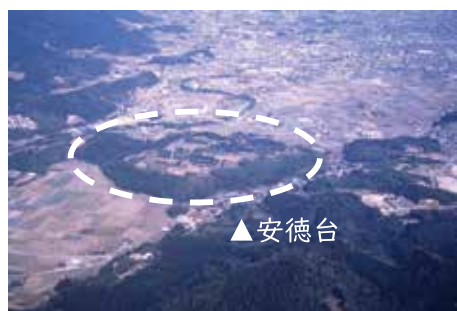
(約 2,500 年前から約 1,700 年前(3 世紀後半))

弥生時代に入ると、中国や朝鮮半島から来た渡来人によって、稲作が伝わりました。
稲作によって食料が安定し人口が増えると、人々は集団(ムラ)をつくりました。
小さなムラ同士はやがて大きなクニへまとまり、リーダーの権力も大きくなっていきました。

～弥生時代の拠点集落 安徳台遺跡～

安徳台遺跡からは、弥生時代に営まれた大規模な集落跡やお墓が見つかりました。

特に甕棺墓からは、貴重な副葬品が出土しました。



▲山田・上梶原から安徳台を望む



甕棺墓とは??

弥生時代に北部九州で流行したお墓の形で、甕や壺などの土器を2つ組み合わせて、亡くなった人を納めました。

甕棺墓はカプセルみたいだね♪



甕棺の中に葬られた人は...

- ・推定 40～60 歳
- ・男性
- ・身長 167.6 cm
- ・身が高い

身分の高さがわかる鉄剣と鉄戈



▲鉄剣



▲鉄戈

当時は貴重だったガラスのアクセサリー!



▲まが玉



▲管玉



▲塞管状製品

塞管状製品は、全国でも出土例が少なく貴重なものです。髪飾りとして使われていたと思われます。

赤い部分には朱がぬられていました。

腕輪を 43 個も着けていた!



▲腕輪

腕輪の材料には、沖縄や奄美諸島など南の深海に生息するゴホウラ貝を使っています。

1つの貝から1つしか作ることができないため、ゴホウラ貝製の腕輪はとても貴重な装身具でした。

こ ふん 古墳時代

(3 世紀後半～6 世紀後半)

古墳は土を盛り上げてつくった大きな墓で、近畿地方を中心に全国へ広がり、九州の豪族も古墳をつくるようになりました。近畿地方の豪族を中心としたヤマト王権は全国を支配し、国家の原形がつくられていきました。

～ヤマト王権との関わりを示す遺跡

みょうほう じ けいとく じ
妙法寺 2 号墳(4 世紀後半)と貝徳寺古墳(5 世紀後半)～



さんかくぶちしんじゅうきょう
▲三角縁神獣鏡 (直径約 22cm)

みょうほう じ
妙法寺 2 号墳は、那珂川市民体育館を建設する際に調査され、古墳からは、さんかくぶちしんじゅうきょう どう きょう
三角縁神獣鏡という銅鏡が見つかりました。この鏡はけんい しやうちよう
権威の象徴として、ヤマト王権から認められた人に与えられたと考えられています。

銅鏡には
6 体の神様と 4 体の聖獣の文様が
えが
描かれていてよ！



けいとく じ だいせん にんとくりよう
貝徳寺古墳は、全長 54m の前方後円墳で、大仙(仁徳陵)古墳と同じような形をしています。ふんきゆう
墳丘は残っておらず、発掘調査によって古墳があることがわかり、貴重な発見となりました。



きぬがさがたはにわ
▲蓋形埴輪

きぬがさがたはにわ
蓋形埴輪のモチーフは左の図のように高貴な人にさしかける傘だと考えられています。

はにわ
古墳の形も、埴輪の形も近畿地方のものとそっくり！ヤマト王権との深い関わりが感じられるよ！



はにわ
これらの埴輪は、北部九州では出土例が少ない貴重な資料です。



あすかじだい 飛鳥時代

(6世紀後半～8世紀前半)

な ら じ だ い 奈良時代

(8世紀前半～後半)

へいあんじだい 平安時代

(8世紀後半～12世紀末)

天皇を中心とした国づくりが進められ、^{りつりょう けいばつ}律令(刑罰や法律)により、役所やお金などの仕組みが整えられました。また、仏教が伝わったことにより、古墳をつくるのではなく、火葬をするようになりました。

今から約1300年前の7世紀ごろ、大宰府周辺には大宰府政^{せいちょう}庁(役所)や大野城^{おおのじょう やまじろ}(山城)、^{うしくび す え き かま}牛頸須恵器窯、^{かんぜおんじ じいん}観世音寺(寺院)などが作られました。大宰府を中心とした筑紫地区^{ちくし}周辺一帯は、「西の都」と言われ、東アジアとの外交や軍事の拠点^{がいこう ぐんじ きよてん}が置かれました。

～西の都と関係が！？ ^{べっしょ じろうまる}別所次郎丸遺跡(奈良時代)～

⑦
寺
湯
⑦



^{べっしょじろうまる}別所次郎丸遺跡から見つかった土器には「寺」、「湯」、「七」、「十」、「塔」などの文字が書かれていました。これらの文字から、この遺跡は奈良時代の役所か寺院の跡だったと考えられます。

七



～「冷」でおもてなし カクチガ浦遺跡群(奈良・平安時代)～

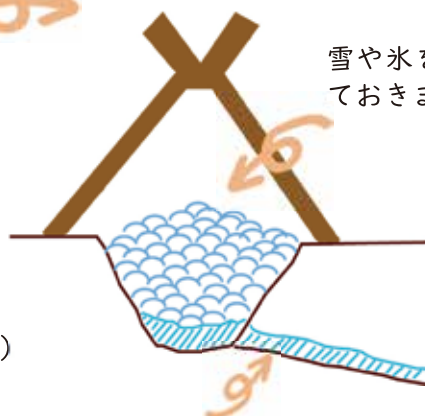
^{ひ むろ}氷室とは、雪や氷をたくわえておく施設です。当時、ここでたくわえておいた雪や氷は大陸からのお客様をもてなすために使われたと思われます。



▲^{ひ むろ}氷室跡

(直径5m、深さ1.5mのすり鉢状)

イラストにしてみました！



雪や氷をたくさん詰め
ておきます。

溶けだした水は外に流せ
るようになっています。

那珂川市周辺で、氷室は
見つかってないよ！
とても珍しいんだ！



▲復元された氷室小屋
(@金沢市)

かまくら 鎌倉時代

むろまち 室町時代

あづちももやま 安土桃山時代

(12世紀後半～14世紀初頭) (14世紀初頭～16世紀半ば) (16世紀半ば～後半)

平安時代の終わりごろに、農民が自衛のために武装するようになり、武士が誕生したと言われています。そして、権力を握った武士たちが政治を動かすようになりました。

げんこう ぶしょう いわ と じょう たつかみやまじょう ～元寇で活躍した武将の城！？ 岩門城(龍神山城)～

岩門城(龍神山城)は、元寇(蒙古襲来)で活躍した武士「少弐景資」が居城したと言われています。発掘調査によって、13世紀から16世紀にかけて使用されていたことがわかり、山の上からは大量のお皿が見つかりました。このことから、客をもてなすための宴会が行われたのではないかと考えられています。



▲岩盤をくり抜いてつくった柱穴の跡が見つかっています。



◀見つかったお皿

この辺りにお城があります



▲この時代は、戦に備えて山の上にお城がつけられています。



▲少弐景資

「蒙古襲来絵詞(模倣)」(九州大学附属図書館所蔵)を改変

元寇とは？

13世紀にはいると中国を支配したモンゴル人は、国の名前を元としました。元は日本を従えさせようとして、何度も使者を送りました。しかし、日本がこれをこばむと、元は、2度にわたって北部九州に攻めてきました。この2度の戦いを元寇と言います。

※1度目は文永11(1274)年に、2度目は弘安4(1281)年に攻めてきました。

えど
江戸時代

(17世紀～19世紀半ば)

めいじ たいしょう しょうわ へいせい れいわ
明治・大正・昭和・平成・令和

(19世紀半ば～現在)

戦乱の世が終わり、江戸時代にはいると約260年にわたって平和な世が続きました。

江戸時代に花開いた文化には、今も受け継がれているものもあります。

～現在まで受け継がれてきた文化

いわと かぐら 「岩戸神楽」 県指定 無形民俗文化財～

いわと かぐら 岩戸神楽は、ふしみ じんじゃ ほうのう 山田区にある伏見神社に奉納される神楽(神様をまつる舞のこと)です。

毎年、7月14日に行われるぎおんさい 祇園祭の夜に舞われます。



【舞についてもっと知ろう!!】

★演者はどんな人たち？

岩戸神楽保存会「珍楽社」^{ちんらくしゃ}によって、舞われています。

珍楽社では、市内の小学校で神楽学習を行ったり、子ども神楽の育成をしたり、周知活動や次世代の育成に力を入れて取り組んでいます。

★舞の種類は？

全部で18番(種類)あります。

★人気の演目！「荒神」^{あらかみ}

おけ ひしゃく 桶と柄杓で、水をまく仕草をします。

これには、はら 祓いの意味が込められています。

鬼に抱かれた子どもは病気をせず、無事に育つといわれています。



「岩戸神楽古道具一括」^{こどうぐ いっかつ} 市指定文化財

こめん たいこ しょうぞくばこ
古面10点、太鼓2点、装束箱1点



▲太鼓



▲装束箱

江戸時代中期以前の作品



▲事代主大神



▲黒鬼

江戸時代中期以後の作品



明治時代中期以後の作品



太鼓の台座には江戸時代の「天保六年
(1835) 乙未 四月吉日」と記されてお
り、これが県指定の根拠となっています。

紹介したお面のほとんどが江戸時代に制作されていると考えられており、工芸品としても神楽の研究資料としても、とても貴重な資料です。

おわりに

那珂川市の文化財を通して見た歴史の旅は、いかがでしたか？

約12,000年前に人が住み始めてから現在まで、人々の生活の営みは途絶えることなく、続いています。歴史あるこのまちと文化財を、これからも大切に守り伝えていきましょう。

行ってみよう♪

那珂川市の文化財マップ



古墳があります

1 まるのくちこふん
丸ノ口古墳公園

2 さくたのうなで
裂田溝公園

3 カワセミ公園

4 あんとくだい
安徳台

5 あんとくきんりん
安徳近隣公園

6 たかはしぜんぞう
高橋善蔵の墓

7 ふし みじんじゃ
伏見神社

8 いわ とじょう たつかみやまじょう
岩門城(龍神山城)跡

9 み はる
観晴が丘公園

10 那珂川市民体育館

P

P WC 遊

P WC

展

P WC 遊

展

展

展

WC

P WC 遊

P …駐車場

WC …トイレ

遊 …遊具

展 …展望所

那珂川市の文化財 6
発見！ながかわ史

発行 那珂川市教育委員会
福岡県那珂川市後野1丁目5番1号

印刷 有限会社 成光社
福岡県福岡市南区大楠1丁目29番33号

かわせみ公園
から
徒歩10分

グラウンドの下が
貝徳寺古墳跡

古墳があります

市民体育館は
妙法寺2号墳の跡